



ややま園施設広報誌

ややま

社会福祉法人ややま福祉会
〒871-0153
大分県中津市大貞312-1
TEL: 0979-24-1637
FAX: 0979-24-1640
令和4年5月23日発行

豊寿園での防災避難訓練

中津市永添にある〔養護老人ホーム豊寿園〕からの協力要請を受け、福祉避難所運営訓練に生活介護事業部8名の利用者と職員6名で参加しました。豊寿園では1年を通して防災・福祉避難所のマニュアル整備を行い、今回は福祉避難所（豊寿園）で他施設の高齢者や障がい者の受け入れをどのように行うかなどの課題の抽出を含め、地域での防災連携を強化する目的で行われました。

避難当日は、徒歩避難・車中避難のグループに分かれてややま園を出発し、福祉避難所の豊寿園へ向かいました。到着後、利用者の状況（情緒面・身体面）を確認し、防災非常食をいただきました。実際に他施設への避難行動は利用者・職員ともに初めての試みで、不安もありましたが、豊寿園の職員・利用者みなさんが細やかに配慮して下さり、とても良い体験ができました。災害は非日常的な出来事で、被災時には利用者のみなさんの状況（情緒面・身体面）が大きく変わる可能性があります。それらに対応していくためには常日頃から、避難先や連絡先などを含めた状況の把握や、寝具や感染予防品などの備え、そして各々の防災意識の向上と地域での連携や協力が必要であると実感しました。日々の支援の中で防災の取り組みを出来ることから進めていきたいと思います。



レクリエーションの様子



非常用ベッド体験

虐待防止委員会の設立

国の法令で社会福祉法人に『虐待防止委員会』の設置が義務付けられました。これを受けややま園は虐待防止委員会を新たに設置し、虐待のない施設環境づくりを目指します。

●虐待防止委員会の目的
虐待防止委員会は、利用者の安全と人権保護の観点から、適正な支援が実施され、利用者の自立と社会参加のための支援を妨げることのないように必要に応じ随時委員会を開催し、虐待防止に努めることを目的とする。

ややま園如水 朝の交差点見守り運動

ややま園如水付近の道路では一時停止や指定方向外進行禁止などの道路標識・表示があり、交通が複雑で朝の通勤時間帯で交通事故が頻発に起こっています。しかも付近には学校があり、登校中の子どもが交通事故に巻き込まれかねません。このような状況を少しでも変えるために、ややま園如水は『朝の交差点見守り運動』を今年度より行っています。朝の登校の時間帯に職員が交通整理を行うことで、車の運転者の交通マナーの向上や、登校中の子どもの命を守ることに繋がるように取り組んでいます。



また、ややま園如水は地域の子どもを守るために『子ども連絡所』の認定手続きを行いました。子ども連絡所とは、子どもたちが登下校時などに知らない人から声をかけられたりした時に助けを求める事の出来る場所の事です。子どもが駆け込んできたときに保護し、家族や学校への連絡・110番や119番通報・避難場所の提供などを行います。

上記の活動を通じて少しでも近隣の地域に貢献することが出来るように頑張ります。

各事業部より

メンテナンス事業部

今年度、新たに取り組むことは、『仲間（チーム）意識の向上』です。利用者個々の作業スキルは年々上がっていますが、そのスキルをチームとして活かしていきたくない現状です。一人ひとりがプライドやライバル意識を持つことは大切ですが、得意な人が不得意な人を、若い利用者が年配の利用者をなど、お互いにフォローし合える事業部にするため、利用者主体でポジティブな終礼を行い、良かった点や“ありがとう”を発表し合い、チーム意識の向上を目指しています。今後、暑い中での作業が続きますが、体調管理をしっかり行いみんなで元気に頑張ります。



陽だまり

陽だまりは今年度、小学校に3名、中学校に3名、高校に2名の方々が入学され、新しい学校生活が始まりました。また、進級された子どもたちも、一段とキリリとしたお兄さん、お姉さんの表情が見られています。児童発達には1名の児童が新たに仲間入りし、児童発達6名、放課後等デイサービス25名、総勢31名の子どもたちと気持ち新たに陽だまりは新年度をスタートしています。



生活介護事業部

午前は機能訓練、個別活動、午後はレクリエーション、創作活動のスケジュールで活動しています。午後のレクリエーションの卓球/バレーやポッチャは毎週取り組み、回数を重ねるごとに力加減や投げ方が上達しています。コロナ禍でなかなか実現していませんが、陽だまりの子供たちとの交流を楽しみにして、頑張っています。



本園B型事業部

本園B型事業部では新たに悠々の里に置かれてある花壇の水やり、増田公園の除草作業を行っています。まだ始めて間もなく、野菜加工との兼ね合いもあるなか、職員、利用者共に忙しく充実した毎日を送っています。依然としてコロナ禍ではありますが、日々の積み重ねを大切にしながら職員、利用者全員、健康に過ごしていきたいと思います。



如水B型事業部

如水B型事業部は販売事業部と協力して『お遣い支援』を始めました。如水B型事業部で使用する備品(消耗品)などを職員の付き添いで利用者が販売事業部へ買い物に行くという支援です。感染症対策をしっかりと行い、販売事業部の店内で必要な商品を見つけ出し、商品をレジへ持って行きお金を払うまでを職員が見守りながら利用者へ実践して頂いています。コロナ禍で外出が困難な利用者や買い物にあまりしたことがない利用者に金銭授受などの経験を通して社会的スキルを磨いて頂けるように支援を行っていきます。



販売事業部

依然、コロナ禍ではありますが、販売事業部の職員、利用者一同毎日元気に過ごしています。感染対策を講じながら地域の方々やお客さんの「ありがとう」の声に活力をいただいています。また、如水B型事業部と協力して、お遣い支援をサポートさせていただいています。コロナ禍でなかなか実現していませんが、陽だまりの子供たちとの交流を楽しみにして、頑張っています。

